

ボ ー イ ス カ ウ ト

渋谷 第 1 0 団



10th Shibuya Group,
Tokyo Scout Council, SAJ



発 団 5 0 周 年 記 念 誌



since 1967

育成会長ごあいさつ

日本ボーイスカウト渋谷第10団
育成会長 齋藤 一夫



三指

本日は、当団の創立50周年の式典にあたり、大変御忙しいなか、関係各位の皆様方のご臨席を賜り盛大に挙行できましたこと、心より感謝申し上げます。

顧みるに、昭和42年7月に僅か14名のカブスカウト（年少隊）でスタートした我が団も同年12月にボーイ隊が発足、正式に東京281団*として発団致しました。……と書けば話は簡単なことですが、鳩森八幡神社の三代前の矢島輝宮司さんから、「この地域にガールスカウトはあるが、ボーイスカウトが無いから一夫ちゃんなんとか作ってくれ」と頼まれたのが、そもそものキッカケでした。引き受けたものの、基盤となる育成会を先づ作らなければならない。それに主旨に賛同してくれる人を集めなければならない。育成会を組織するにあたって、初代の鈴木梅吉会長さんや豊田繁団委員長さんには言葉に云い尽くせないご協力を戴きました。そのようなことをつらつら想いうかべる半世紀を過ぎた今、発団当初、御世話になった人が今、ほとんどいらっしゃらない。リーダー、スカウトも多く亡くなって居ります。まさに昔日の感がする今日、此の頃です。

然し、人変わり、時代が変わっても、渋谷10団の基本的な姿勢は変わって居りません。これは武山団委員長をはじめとする各隊リーダーの素晴らしい人間性、指導力のお陰と心から感謝申し上げます。

結びに、ボーイスカウト活動に変らぬご協力を戴いてきた、ライオンズクラブの方々や、地域関係者の皆様に衷心より御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

弥栄

* 1978年に組織改編により、東京281団から渋谷第10団に変更になりました。

団委員長ごあいさつ

日本ボーイスカウト渋谷第10団
団委員長 武山 昭英



三指

本日は、当団の発団50周年記念式典にあたり、皆様には貴重な時間を割いてご臨席賜り、団を代表いたしまして、心から感謝申し上げます。渋谷第10団はボーイスカウト日本連盟に昭和42年12月正式に加盟承認され、ここに50年の歴史を刻むことができました。

この50年の間、多くの地域社会の方々や、渋谷区長をはじめとする区関係者、区議会議員の皆様、そして団の運営に携わっていただいた方のスカウト活動へのご理解やご協力など温かいご支援の賜と厚くお礼申し上げます。

今日、子どもを取り巻く環境は、決して良い方向をむいているとはいえないものとなっています。このところ新聞紙面には、我が子への虐待、いじめや不登校などさまざまな問題や、ニートをはじめとする若者の格差問題、核家族化、少子化など人間的ふれあいが少ない子どもなど、青少年に関わる事項が大きな社会問題として、毎日のように取り上げられています。このような時代こそボーイスカウト活動の目的である「よりよき社会人の育成」のもと、子どもたちにボーイスカウト活動を続けることで自然を愛し、他人を思いやる心を養い、自分で考え行動できる自立心と想像力を身につける力を育むため、スカウト活動にたずさわる私たち大人は子どもたちのために努力しなければなりません。

この発団50周年を契機に指導者、団委員、育成会が一丸となってスカウト運動の目的に向かって邁進いたします。

今後とも、スカウト活動にご指導、ご理解をお願いしますとともに、渋谷第10団にご支援賜りますようお願い申し上げます。

弥栄

渋谷第 10 団創立 50 周年を迎えて

渋谷区長 長谷部 健



このたび、ボーイスカウト渋谷10団が、創立50周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

また、半世紀もの長きにわたり、青少年の健全育成にご尽力いただきましたこと、心から感謝と敬意を表したいと思います。

さて、創立当時と今日では、区内の風景も大きく変わり、子どもたちを取り巻く環境も大きく違っています。

50年前は、子どもたちが自由に駆け回ることができる多くの自然が区内にもありました。その自然の中では、友人と何をして遊ぶか意見を出し合ったり、体を動かすことで汗をかいたり、時には転んでかすり傷をつくったりと、様々な経験を得ることができました。

そうした経験が一人ひとりの心の中に深く刻まれ、創造力や「思いやりの心」、そして「生きる力」が養われるものと思います。

スカウト活動の自然体験では、不便な生活の中、スカウト一人ひとりが、互いの意見を出し合い、それを「知恵」に変えて、様々な課題を解決していきますが、「生きる力」が養われる貴重な機会となっています。

昨年、渋谷区は「基本構想」を制定し、20年後の未来像を「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」としました。この未来像は、人々のあらゆる多様性（ダイバーシティ）を受け入れるだけでなく、その多様性をエネルギーへと変えてゆくこと（インクルージョン）、すなわち、人種、性別、年齢、障害を超えて、渋谷区に集まるすべての人の力を、まちづくりの原動力にするというものです。

スカウトの活動において、スカウト一人ひとりの「個性（ちがい）」を尊重し、その「個性（ちがい）」が大きな輝きを放つよう実践され、「基本構想」の未来像と相通じており、今後の活動に大きな期待をしております。

結びにあたりまして、武山昭英委員長を中心に、渋谷10団が益々ご発展されますこと、また、団員の皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、一言挨拶とさせていただきます。

渋谷第 10 団発団 50 周年を迎えて

渋谷区議会議員 丸山 高司



三指

ボーイスカウト渋谷第10団、創立50周年を迎えられますことに、心よりお祝いを申し上げます。

私も、カブスカウトからローバースカウトまで経験し、その後、当時の呼称であるシニアスカウトの隊長を長くさせていただいた経験から、ボーイスカウトの精神が人生のバックボーンとなっております。

「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そしてむくいを求めぬよう」ボーイスカウト初代総長であった後藤新平総長が遺された自治三訣、これが私の人生訓です。

そして貴渋谷第10団もこの誓いのもと、大自然の中で冒険的で、緻密な観察と技術、機敏な自主判断と集団行動を通して青少年の健全育成を行ってきた渋谷地区では、音に聞こえた雄団であったと記憶しております。また、武山団委員長とは当時気鋭の先輩指導者（地区コミッショナー）として、様々な教えて頂いた楽しい記憶がよみがえって参るほど、貴渋谷第10団は、地区の中心的な役割を担ってこられました。これもひとえに発足当時ご尽力をされた齋藤一夫元区議会議員をはじめとする、歴代の団委員長、齋藤竜一区議会議員をはじめとする、団指導者並びに団をサポートしてこられました育成会の皆様のご尽力に深く敬意を表するものです。

時代は、少子化を迎え、団運営には様々ご苦労されていることと拝察いたしますが、現代社会にこそ、野外を教場とし、異年齢の子ども達の集団活動を通して、礼儀を学び、感謝の心を持ち、さらに仲間のためには困難と思われることにも勇敢に立ち向かう強い心と体を育てる事は、実に大切なことと確信いたします。

今後とも、貴渋谷第10団が、渋谷区におけるボーイスカウト活動の中心として益々のご発展と武山昭英団委員長を中心に、団指導者の皆様、育成会の皆様や保護者の皆様方のご団結とご健勝をお祈りいたしまして、お祝いの挨拶といたします。

弥栄

渋谷第 10 団創立 50 周年に寄せて

渋谷区子ども家庭部長 松澤 俊郎



ボーイスカウト渋谷10団の創立50周年、誠におめでとうございます。
また、運営や指導にあたられた皆様に心より感謝申し上げます。

ボーイスカウトは、イギリスのロバート・ベーデン＝パウエル卿が青少年の健全育成を目指して1907年に創設した青少年運動で、世界では216の国と地域で活動が行われており、日本全国には団と言われる活動母体が約2,000あり、伝統と歴史ある世界的な活動です。

渋谷10団は、区内の千駄ヶ谷・代々木・神宮前を中心に活動をされており、半世紀の長きにわたり、青少年の健全育成に大きく寄与され、社会に有為な人材を送り出してこられました。野外活動では、グループの中で各々の役割を持たせるとともに、それぞれの自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどが身につくよう、取り組んでおられるとのこと。また、幼年期より青年期にわたる各年齢層を、ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト及びローバースカウトに分け、スカウトクラブ（成人指導者）と協力連携したプログラムに基づいた組織運営にも取り組んでおられます。

本区といたしましても、青少年の健全育成を最重要課題の一つとして掲げ、青少年委員や青少年対策地区委員会などの活動を推進しておりますが、ボーイスカウト活動とも、しっかりと連携させていただき、青少年の健全育成に努めていく所存でございます。

結びではありますが、渋谷10団の益々の発展と団員お一人お一人のご健勝を祈念し、一言挨拶とさせていただきます。

創立 50 周年に寄せて

東京代々木ライオンズクラブ会長 L 三和 三郎



L 三和 三郎 会長



L 中江 勤 幹事

ボーイスカウト渋谷10団の創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

当クラブでは、クラブ先輩ライオンだった、故貞永博司Lや、現在は89歳の斉藤豊太郎Lなど、貴団の結成当時から活動を支援してきました先輩ライオンがいましたが、私、L三和は、25年前にライオンズに入会してから丁度25年になり貴団の創立50周年の半分にしかありません。

以前は、団活動に必要な、テントの寄贈もあったと思います。近年は、年間5万円の協賛金支援を続けています。去年はジャンボリー世界大会への参加時にも若干ながらご協力させていただきました。

近年の少子化現象の中、ボーイスカウトに入隊される子供さんも少なくなる中で、隊の維持にさぞかし苦労されていると思います。

私ども東京ライオンズクラブも、高齢化が進行しておりメンバーは減少するばかりです。しかし、地域における、ボーイスカウトやガールスカウトとの関係を今までのように、支援できるか難しい環境にありますが、当クラブとしては地域社会へのアクティビティとしてクラブの存続する限り、ささやかでも支援は継続する所存です。

貴団の今後のますますの活躍を祈念し、東京代々木ライオンズクラブを代表して創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



渋谷10の思い出・エピソード

三堀 顕弘（1967 年 CS 隊入団）



ボーイスカウト渋谷10団（旧東京281団）発団50周年おめでとうございます。発団以来、団を支えて下さった皆様に敬意と感謝の意を表します。私は発団時に木原一朗君、松尾和明君と共にカブの同期生として入団、ボーイでは、3人でキジ・ダブ・カモシカ班の班長を務めました。明治神宮で野営し、目覚めた時に大雨で浮いたグランドシートのフワフワ感が今でも蘇ります。伊豆のオーバーナイトでは月明かりの明るさに驚き、四万温泉での野営では天の川の美しさに見とれ、定番丹波村キャンプでは、江戸時代さながらの土葬の葬列に驚愕。1974年千歳ジャンボリーは直角シートの列車で遠征、飛行機って有り難い。手旗信号はLINEに代わっても、ロープの結束方法と「そなえよつねに！」の精神は現役です。冒頭の二人とは今でも特別な関係です。松尾君は鬼籍に入ってしまったましたが、50年記念誌の企画案を、そっと聞いてみましょう。彼の長年のスカウト活動に敬礼！

斎藤 栄（1971 年 CS 隊入団）

“現役のスカウト”として活動をした約20年間は、“うさぎ”の時に見学した朝霧高原での世界ジャンボリーの最終夜に見た絶世の花火に始まり、夏冬の野営での無数の楽しい出来事、それは時には（T隊長のノリに合わせると不可避免的に）危なく・怪しくもあり（笑）、だからこそまたかけがいのない思い出にちりばめられ、その時間を一緒に



過ごした仲間のことも含め、今でも鮮明に覚えています。雪中（氷上！）キャンプをした丹波やオーバーナイトで何度も歩き廻った鎌倉（朝比奈切通し～天園ハイキングコース～江の島）が無性に懐かしく、昔の自分の姿を求めて後年に再訪したのは実は1度だけではありません。2013年の日本ジャンボリー（山口市）に仕事上で協力団体として参加する機会を得た際に、渋谷10の赤い“ネッチ”を引っ張りだし嬉々として首に巻いて会場を走り回った自分は、“永遠のスカウト”であることを心底に自覚しました。

松山 光男（1968 年 CS 隊入団）



＜雪中行軍＞

山中野営場から見る向かいの山は晴れ渡り 残雪も少なく。

私と三瓶、夕方に山頂付近でボーイ隊選抜と落ち合い一泊予定。

裏は北斜面 膝まである雪に悪戦苦闘。

途中 三瓶は足を滑らし山道から転落。夜中にやっと目的地に着くが別方向から登ってくるボーイ隊も到着せず 遭難か。

明朝 ボーイ隊は途中でビバーク 全員無事。

：1978 年 春 山中野営場

＜悪路＞

奥多摩駅から丹波までたどり着けず、途中から荷物を背負い行軍

食料からテントまで背負う班長たち中3すごい 木原 松尾 三堀

：ボーイ隊 1972 年 春

400字で、思い出 エピソード 事件などを寄せてとのことでしたが、何か一つを書き出そうにも、それぞれ断片の思い出が重層的に連なってくるので、詩のように記してみました。またよい機会でしたので添え書きをいたします。

私の人格形成には間違いなくボーイスカウトの経験が一番大きく影響しています。

旧東京281団時代、私がボーイ隊の頃までは、今では危険として決して出来ないプログラム、と言うより行き当たりばったりの活動から逞しく生きることを体感しました。その後も、その流れでシニア、ローバーと様々な経験を積むことができました。

今30周年記念誌を読みますと、この団のアイデンティティとして「生活力」が書かれていますが、まさにそのことを十二分に身に着けたのでしょうか。それはスキルではなくスカウト活動を通じて身に着けた精神性だと思います。という私もシニア以降は熱心に参加していた訳ではなく、でも適宜に声をかけてもらったので長くこの団に係ることができたと思います。一度離れていても戻ってこれる家という言い過ぎかもしれませんが、これも渋谷10団の特色ではないでしょうか。

この家の様な渋谷10団を支えてこられた方々に改めて感謝を申し上げます。

Memories of Shibu10

渋谷10の思い出・エピソード

松山 安男（1970 年 CS 隊入団）

会話でボーイスカウトの話が出ると困る事がある。
「皆が思うボーイスカウトと私がいた団は少し違うんですよね」と切出す必要があるからだ。募金活動や高校野球の入場行進を見て周囲はどうも「ボーイスカウトは良い子の集り」と思っているようだ。決して渋谷10を「悪い子の集り」とは言わないが皆のイメージとは明らかに違う。今回の寄稿依頼も「スカウト時代に最も記憶しているエピソード、事件、事故（印刷に耐える内容）ときた。

事件、事故の類は他の方にお任せするがそんな渋谷10に私は本当に感謝している。会社人生は東南アジア勤務が長かった。



現地で困難に直面した時にふと思い出すのは新入スカウト時代、火がつかず芯ありの米を食べた時や、夜間非常呼集時、テント内でガーターが見つからずパニックになった自分だったりした。現地社員教育でも会社の教材より「そなえよつねに」やカブ隊の「さだめ」なんかが遥かに効果的だったことは言うまでもない。

岡田 健介（1977 年 CS 隊入団）

明治神宮や日本武道館での奉仕活動もさる事乍ら、多くの野外活動が思い出深く、体力自慢の先輩方に、なんとかついて行くのに必死でした。山中湖（台風直撃!）・長後・伊豆縦断・元加治（春夏）・丹波などなど辛い事、楽しい事、満載でした。

ご指導下さった方々、諸先輩方、支えて下さった育成会の方々、仲間達に、今更乍ら感謝致します。機会がありましたら是非キャンプで集まりたいです。



野本 祐介（1980 年 CS 隊入団）

1. 神と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

己の名誉をかけて上の3条の実行をボーイスカウト日本連盟渋谷第10団武山隊長（当時）に宣誓してから早約35年。思い起こせば現在の私の人生の礎は、宣誓し入隊したボーイスカウト活動によって支えられていると言っても過言ではない。常に先輩の背中を追いかけてきた憧れ、後輩には優しく接し？協力し様々な困難を乗り越える力を得る良き修練場であったと思う。当時を想うと新入りでの春の寒冷下のキャンプにおいては皿洗いか薪拾いで疲弊し、飯にありつけるかは班長次長の腕次第。中間層になると一番楽←社会人における現在（笑）班長次長になると妙な責任感。そのころ先輩の影響で覚えた音楽、そして茶目っ気（色々含）あぁなんて素晴らしい日々だったであろうか。



もしも明日の夜明けに、鎌倉の由比ガ浜でハンバーガーかロマンスカーの選択肢があるとすれば、迷わずにハンバーガーを選びたい。

最後に、渋谷10団の関係者様、この度は50周年おめでとうございます。

私を育てて頂いた渋谷10団に感謝するとともに、今後渋谷10団の発展を願っております。

弥栄

Memories of Shibu10

渋谷 10 の思い出・エピソード

小笠原 巧（1984 年 CS 隊入団）

私が渋谷 10 団に入団し、誓いを立ててから早 30 年の月日が流れました。これまでを振り返ってみると、渋谷 10 団で過ごした時間や経験が今の私の糧となっていると実感しております。

当時の記憶が今でも時折思い出されます。

24 時間ハイキングを行っていた時、気付けば一面の銀世界に ... しばらくすると濃霧で 5 メートル先も見えない状況に八方塞がりになったことや、土砂降りの中でのビバークで、顔半分を水たまりに浸けて爆睡をしている人を見た時の衝撃、このような日常では経験出来ないような環境下に 10 代前半から身を置けたことは、私にとって貴重な財産だと思っております。特に、現在の仕事でのモチベーションの維持や取り組む姿勢に活かされていると信じたいです。(笑) 今となっては、ロープワークや手旗信号などは忘れてしまいましたが、学校や社会では決して学ぶことの出来なかった、想像力、価値観、行動力、そして仲間の大切さ。人生において大切な多くのことを学ばせて頂きました。渋谷 10 団から学んだことは、数え上げればキリが無いほどです。

私が入団した当時の渋谷 10 団は、行動力と個性的？な団体でしたのでその為、先輩方から覚えなくても良いことも沢山教えて頂いた記憶がありますが!! しかし、その先輩方の存在があったからこそスカウト生活を楽しく過ごすことができ、その教えのおかげで今の私が創られたのだと思っております。

現在でも当時のボーイスカウト仲間数人と集まり、お酒を酌み交わしながら当時の辛いことや、辛いことや、楽しかったことを語り合っています。本当に楽しい思い出しかありません!!

私は渋谷 10 団に入団して良かったと、心から思っております。もしも、当時の自分に会うことができるなら、ハットは畳んでしまうものではないと教えたい。

末筆になりますが、渋谷 10 団の関係者様、この度は 50 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

弥栄



平山 弁慶（1978 年 CS 隊入団）

私の思い出に残るキャンプは数多くあるのですが、その中でもボーイ隊で最後となる春キャンプです。渋谷 10 団では最上級生になると「ホワイトベアー班」として同期だけの班が結成されます。それまではそれぞれの班でキャンプ生活をしていました。当然、班員には上下関係があり、お互いの考え方にズレがあったのかうまくいかないことも多々ありました。

ところがこの「ホワイトベアー班」が結成されてからキャンプ生活が一変します。お互いにすべきことを理解している同期の 5 人が自分のできることをどんどん進んで作業します。助けて欲しいなと思っていると、特に声をかけなくても助けてくれます。キャンプサイトもあつという間に作り上げ、クオリティーの高い工作物により快適な生活を送ることができました。その分気持ちにも余裕ができて、いつも笑いが溢れていました。

「ホワイトベアー班」には特別なカリキュラムがあります。それは 24 時間移動キャンプです。ベースキャンプを離れ、一泊分の装備を持って別の場所までハイキングし、指定された場所で一泊を過ごすのです。

その行程は非常に辛いものではありませんが、互いに助けあって予定よりも早く到着することができ、予定外のところまで進んでから夜を過ごしました。私は同期の中で唯一班長を経験していませんでした。そんな私にメンバーは僕を班長に推薦してくれました。

技能的にも体力的にも勝ることのない私にとって、信頼できるメンバーが揃ったことで安心して班長をすることができました。



互いに信頼すること、互いに助け合うこと、相手に感謝すること。常にこのことが守れば、きっと最高の結果が得られると信じて今も過ごしています。

これからも一人でも多くのスカウトが経験してくれれば幸いです。



Memories of Shibu10

50年のあゆみ

渋谷第10団（旧東京281団）

50年のあゆみ

凡例：BVS…ビーバースカウト、CS…カプスカウト、
BS…ボーイスカウト、SS…シニアスカウト、
VS…ベンチャースカウト、RS ローバースカウト

■ 1967 年

7 月 カプスカウト 14 名、リーダー 7 名の準備隊を結成
10 月ボーイスカウト東京 281 団鳩森八幡神社にて発団式
12 月ボーイスカウト東京連盟に正式登録（団と CS 隊）

■ 1968 年

4 月 BS 隊準備隊結成
8 月 BS 隊東京神社スカウト大会参加 /BS 隊東京連盟に正式登録
12 月明治神宮庭燎奉仕（以降毎年）

■ 1969 年

4 月 BS281 団 /GS40 団合同ハイク
11 月ボーイスカウト東京連盟 20 周年スカウトフェスティバル参加
12 月BS281 団 /GS40 団「ピスタの集い」

■ 1970 年

4 月 BS281 団アマチュア無線局開設
8 月 第 5 回日本ジャンボリー参加
10 月Jamboree on The Air 参加

■ 1971 年

2 月 BS 渋谷地区第 2 回 BP 祭参加
4 月 SS 隊発足
8 月 第 13 回世界ジャンボリー参加（朝霧高原）
11 月BS281 団 /GS40 団「ピスタ冬の集い」

■ 1972 年

8 月 第 3 回神社スカウト全国大会奉仕（伊勢神宮）
11 月明治神宮庭燎奉仕（3 日）

■ 1973 年

8 月 BS 隊伊豆大島夏季野営
11 月BS 隊渋谷地区オーバーナイト参加

■ 1974 年

8 月 第 6 回日本ジャンボリー参加（北海道千歳原）
BS 隊夏季野営（日連山中野営場）
10 月CS 隊渋谷地区カブラリー参加

11 月明治神宮庭燎奉仕（3 日）

12 月団クリスマス会

■ 1975 年

5 月 交通安全パレード奉仕
8 月 RS 隊発足
10 月大銀座祭奉仕
11 月鳩森八幡神社 七五三奉仕
12 月団クリスマス会

■ 1976 年

2 月 BS 渋谷地区第 3 回 BP 祭参加
8 月 SS 隊神社スカウト全国大会奉仕
SS 隊紀勢路遠征

11 月地区カブラリー参加

■ 1977 年

7 月 BS 隊富士風穴オーバーナイトハイク
8 月 CS 隊裏妙義夏季キャンプ
9 月 鎌倉オーバーナイトハイク

■ 1978 年

団号を渋谷第 10 団に変更
4 月 SS 隊伊豆移動キャンプ
8 月 第 7 回日本ジャンボリー参加（御殿場）/SS 隊能登遠征
10 月渋谷地区カブラリー
9 月～ 12 月
BS 隊山手線一周シリーズハイク
11 月SS 隊渋谷地区オーバーナイト参加



発団式（鳩森神社）



レスキュー訓練（鳩森神社）

1967-1978 昭和42年～昭和53年



シニア東北遠征（岩手県）



第 13 回世界ジャンボリー（朝霧高原）



シニア遠征（青森県）

1979-1989 昭和54年～平成元年



ボーイ夏期移動野営（静岡県）



ボーイ夏期移動野営（静岡県）



ボーイ夏期移動野営（静岡県）

■ 1979 年

4 月 BS 隊三浦半島サイクリング
7 月 BS 隊夏季野営（日連那須野営場）
9 月～ 12 月 BS 隊山手線一周シリーズハイク
11 月SS 隊地区オーバーナイト参加

■ 1980 年

4 月 BS 隊春季野営（日連山中野営場）
5 月 CS 隊渋谷地区カブラリー
8 月 東京連盟 30 周年記念キャンボリー /SS 隊東京連盟東北遠征
11 月団バサー /BS 隊オーバーナイトハイク（高尾山）

■ 1981 年

2 月 地区 BP 祭参加
6 月 新島オーバーナイトハイク参加
9 月 渋谷地区大会参加（新島）
11 月BS 隊渋谷区フェスティバル奉仕

■ 1982 年

4 月 SS 隊渋谷地区 50km ハイク参加
8 月 SS 隊信州遠征
9 月 CS 隊 /BS 隊 /SS 隊地区大会参加
10 月CS 隊い羽根街頭募金
11 月発団 15 周年記念式典
CS 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷区フェスティバル奉仕

■ 1983 年

5 月 BS 隊交通安全パレード奉仕
7 月 SS 隊合同訓練野営
9 月 CS 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷地区大会参加
11 月S 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷区フェスティバル奉仕

■ 1984 年

6 月 CS 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷地区大会参加
7 月 SS 隊ベンチャー '84 参加
10 月SS 隊地区 50km ハイク参加
11 月CS 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷区フェスティバル奉仕

■ 1985 年

5 月 SS 隊わんぱく相撲奉仕
7 月 団ボリー

■ 1986 年

1 月 SS 隊マーチングバンド全国大会奉仕
5 月 BS 隊わんぱく相撲奉仕 /SS 隊地区 SS 伊豆移動キャンプ参加
8 月 第 9 回日本ジャンボリー参加（白石・南蔵王）
9 月 BVS 隊登録
10 月SS 隊地区オーバーナイトハイク /RS 隊都連 100km ハイク

■ 1987 年

4 月 BS 隊 /SS 隊緑化運動奉仕
5 月 SS 隊地区 SS キャンプ参加
8 月 SS 隊東海遠征
9 月 BS 隊 /SS 隊 /RS 隊鳩森神社大祭奉仕
10 月SS 隊地区移動キャンプ参加
11 月CS 隊 /BS 隊 /SS 隊渋谷フェスティバル奉仕
SS 隊地区 50km ハイク参加 /RS 隊都連 100km ハイク参加
12 月発団 20 周年記念式典

■ 1988 年

1 月 新春団ハイク
5 月 SS 隊地区合同野営
7 月～ 8 月 SS 隊ベンチャー '88 参加
8 月 BS 隊渋谷地区キャンボリー参加
11 月RS 隊都連 100km ハイク参加
12 月ファミリークリスマス会

■ 1989 年

8 月 SS 隊地区シニア南伊豆遠征参加
9 月 SS 隊地区シニア自転車ハイク
10 月RS 隊都連 100km ハイク参加
11 月SS 隊地区 50km ハイク参加

- 1990 年
 8 月 SS 隊第 10 回日本ジャンボリー参加（妙高高原）/ 北陸遠征
 10 月 RS 隊都連 100km ハイイク参加
 11 月 SS 隊地区 50km ハイイク参加
 12 月ファミリークリスマス会
- 1991 年
 7 月 RS 隊アグーナリー全国大会奉仕
 8 月 SS 隊第 7 回神社スカウト大会参加 / SS 隊紀州路遠征
 10 月 RS 隊都連 100km ハイイク参加
 11 月 SS 隊地区 50km ハイイク参加
- 1992 年
 3 月 BVS/CS/BS/SS 合同キャンプ
 7 月 SS 隊ベンチャー '92 参加
 10 月 RS 隊都連 100km ハイイク参加
 11 月 SS 隊地区 50km ハイイク参加
 12 月発団 25 周年式典
- 1993 年
 4 月 鎌倉ファミリーハイイク
 5 月 東京チビリンピック奉仕
 6 月 スカウトフォーラム参加
 8 月 第 2 回東京ジャンボリー参加（宮城県蔵王）
 9 月 団バザー
 10 月 RS 隊都連 100km ハイイク参加
 11 月 SS 隊地区 50km ハイイク参加
- 1994 年
 1 月 マーチングバンド全国大会奉仕
 5 月 東京チビリンピック奉仕
 6 月 スカウトフォーラム参加
 8 月 第 11 回日本ジャンボリー参加（大分県久住高原）
 9 月 団バザー
 10 月 RS 隊都連 100km ハイイク参加
 11 月渋谷区区民の広場奉仕
- 1995 年
 5 月 東京チビリンピック奉仕
 6 月 スカウトフォーラム参加
 8 月 団キャンプ（伊豆大島）
 9 月 団バザー
 10 月銀座祭光のパレード奉仕
 東京都子供フェスティバル奉仕
 11 月渋谷区区民の広場奉仕
 SS 隊地区 50km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
- 1996 年
 2 月 地区 BS ラリー
 地区 SS 移動キャンプ
 6 月 スカウトフォーラム参加
 8 月 SS スカウト全国大会参加
 9 月 団バザー
 地区 SS 移動キャンプ
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 SS 隊地区 50km ハイイク / 都連 RS100km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月ファミリークリスマス会
- 1997 年
 2 月 地区 BS ラリー
 3 月 団愛川キャンプ
 5 月 東京チビリンピック奉仕
 6 月 スカウトフォーラム参加
 9 月 団バザー
 10 月大銀座祭光のパレード奉仕
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 SS 隊地区 50km ハイイク / 都連 RS100km ハイイク
 第 1 回団チャリティー・ボーリング大会
 12 月発団 30 周年記念式典



夏期団キャンプ（大島）



夏期団キャンプ（大島）

1990-1997 平成 2 年
 ~平成 9 年



春期団キャンプ（那須）



春期団キャンプ（那須）



春期団キャンプ（愛川）



春期団キャンプ（愛川）

1998-2003 平成 10 年
 ~平成 15 年



夏期団キャンプ（那須）



夏期団キャンプ（那須）

- 1998 年
 2 月 地区 BS ラリー
 6 月 団ボーリング大会
 8 月 第 12 回日本ジャンボリー参加（秋田県森吉高原）
 9 月 団バザー
 10 月大銀座祭光のパレード奉仕
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 12 月団ファミリークリスマス会
- 1999 年
 1 月 新春団ハイキング
 3 月 団愛川キャンプ
 5 月 東京チビリンピック奉仕
 6 月 スカウトフォーラム参加
 7 月 団キャンプ
 8 月 都連サマーキャンプ
 9 月 団バザー
 10 月大銀座祭光のパレード奉仕
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 SS 隊地区 50km ハイイク / 都連 RS100km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月団ファミリークリスマス会
- 2000 年
 1 月 新春団ハイキング
 2 月 地区 BS ラリー参加
 6 月 スカウトフォーラム参加
 8 月 原岡海岸サマーキャンプ
 9 月 団バザー
 10 月地区グリーンパークキャンプ参加
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 都連 RS100km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月団ファミリークリスマス会
- 2001 年
 3 月 愛川団キャンプ
 5 月 スカウトフォーラム参加
 7 月 団キャンプ
 8 月 那須野営場団キャンプ
 9 月 団バザー
 10 月大銀座祭光のパレード奉仕
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 SS 隊地区 50km ハイイク / 都連 RS100km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月団ファミリークリスマス会
- 2002 年
 1 月 新春団ハイキング
 3 月 団愛川キャンプ
 7 月 山中野営場団キャンプ
 8 月 第 13 回日本ジャンボリー参加（大阪府舞洲）
 都連サマーキャンプ
 9 月 団バザー
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 都連 RS100km ハイイク
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月発団 35 周年記念ファミリークリスマス会
- 2003 年
 1 月 BS/VS/RS 雪中キャンプ
 新春団ハイキング
 3 月 団愛川キャンプ
 地区 BVS/CS ラリー参加
 8 月 那須団キャンプ
 9 月 団バザー
 11 月渋谷区民の広場奉仕
 地区 BVS/CS ラリー参加
 12 月ファミリークリスマス会

- 2004 年
- 1 月 新春団ハイキング
 - 6 月 地区 BVS/CS ラリー参加
 - 8 月 伊豆大島団キャンプ
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
都連 RS100km ハイイク
地区 BVS/CS ラリー参加
 - 12 月ファミリークリスマス会
- 2005 年
- 1 月 新春団ハイキング
 - 2 月 羽鳥湖雪中キャンプ
 - 3 月 山中湖キャンプ
 - 7 月 東連サマーキャンプ参加
 - 8 月 高遠団キャンプ
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
 - 12 月ファミリークリスマス会
- 2006 年
- 1 月 新春団ハイキング
 - 2 月 羽鳥湖雪中キャンプ
 - 3 月 山中湖団キャンプ
 - 8 月 第 14 回日本ジャンボリー参加（石川県珠洲）
戸隠団キャンプ
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
 - 12 月ファミリークリスマス会
- 2007 年
- 1 月 新春団ハイキング
 - 3 月 那須団キャンプ
 - 8 月 団キャンプ
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
 - 12 月発団 40 周年記念式典
- 2008 年
- 8 月 団キャンプ（町田市大地沢）
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
 - 12 月ファミリークリスマス会
- 2009 年
- 2 月 東京マラソン奉仕
 - 3 月 那須団キャンプ
 - 7 月 東京連盟サマーキャンプ参加
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
- 2010 年
- 3 月 那須団キャンプ
 - 8 月 第 15 回日本ジャンボリー参加（静岡県朝霧高原）
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
- 2011 年
- 3 月 那須団キャンプ
 - 7 月 東京連盟サマーキャンプ参加
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕
- 2012 年
- 3 月 那須団キャンプ
 - 8 月 山手地区キャンボリー参加
 - 9 月 団バザー
 - 11 月渋谷区民の広場奉仕



雪中キャンプ（福島県）

2004-2012 平成 16 年 ～平成 24 年



夏期 GS 合同キャンプ（戸隠）



夏期キャンプ（山梨県）



カヌー訓練（埼玉県）



初詣奉仕（明治神宮）



伊豆ヶ岳ハイキング（埼玉県）



渋谷フェスティバル親子体験広場

2013-2017 平成 25 年 ～平成 29 年



沢登り訓練（奥多摩）



GS179 合同キャンプ（那須）

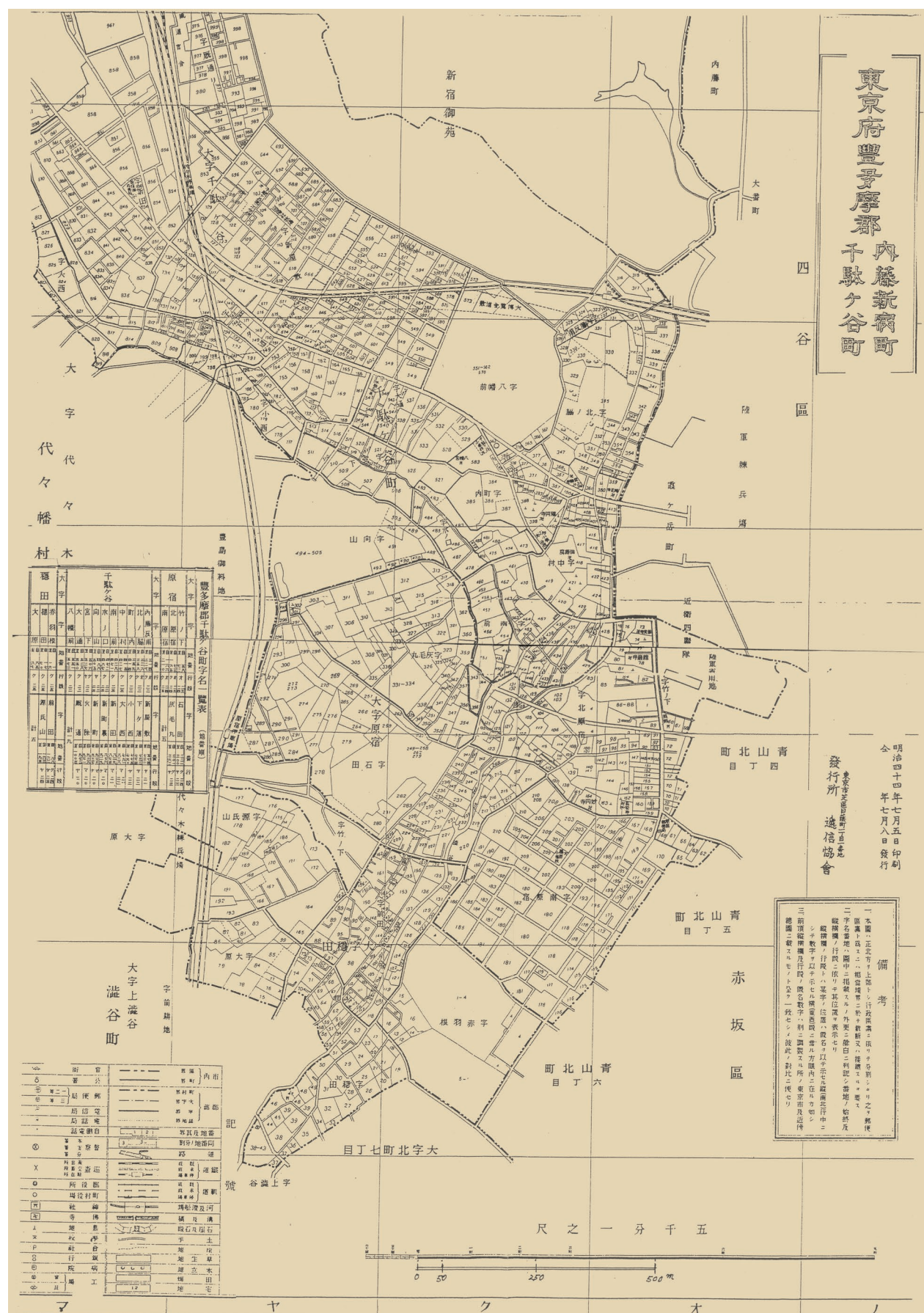


昔のわが街「渋谷」

— 1868年（明治元年）千駄ヶ谷周辺

資料所蔵 山口雅人

昔のわが街「渋谷」



資料所蔵 山口雅人

1911年(明治44年)代々木・千駄ヶ谷付近



旧庁舎 (1967 年)



平成 31 年完成予定の新庁舎

渋谷区役所



渋谷駅前の夜景 (1967 年)



千駄ヶ谷小学校 (1955 年)



鳩森小学校 (1955 年)



代々木小学校 (1955 年)



神宮前小学校 (1955 年)

出典 渋谷区議会アルバム

所蔵 山口雅人

昔のわが街「渋谷」

日本ボーイスカウト渋谷第10団

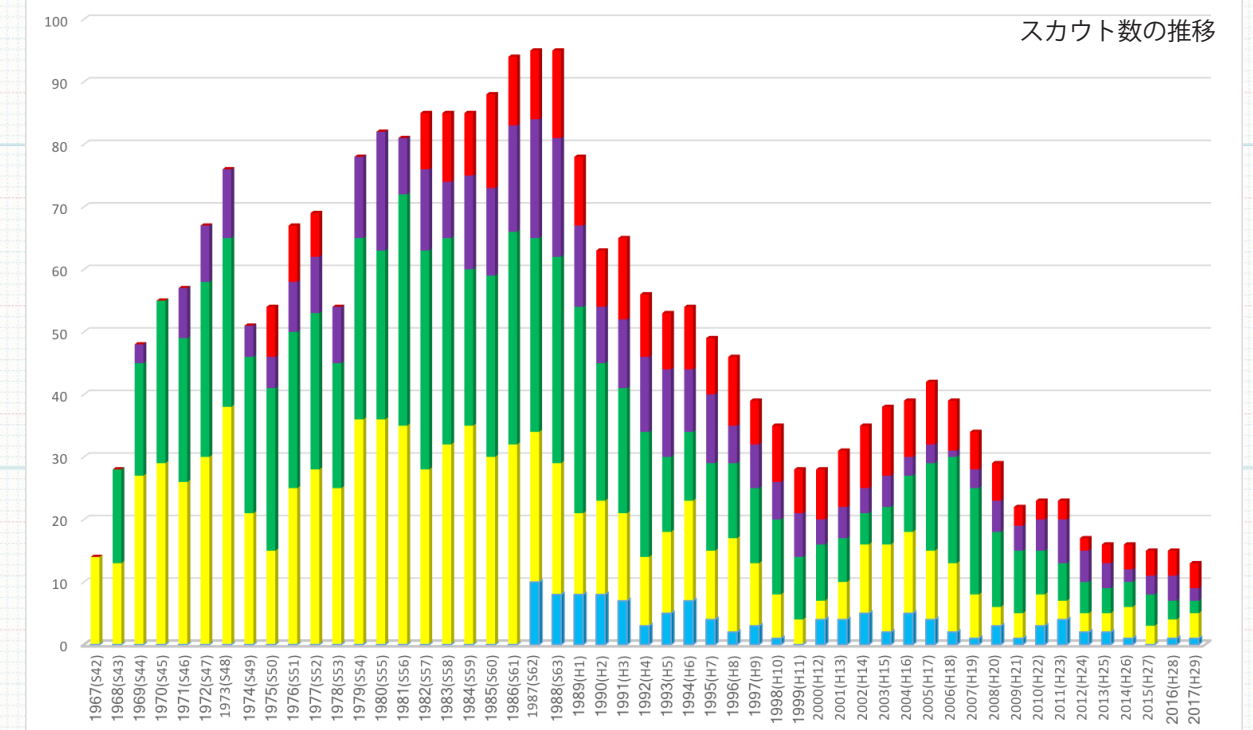
最近の活動



データで見る50年

発足からのデータから50年を振り返ります。

	活動期間	述べスカウト数	述べ指導者数	最大スカウト数
団全体	50年	437名	168名	95人
■ビーバースカウト隊	31年	78名	8名	10人
■カブスカウト隊	50年	94名	102名	36人
■ボーイスカウト隊	49年	90名	56名	37人
■ベンチャースカウト隊 (シニアスカウト隊)	48年	61名	15名	19人
■ローバースカウト隊	43年	73名	10名	15人



スカウトの分布（初期登録の住所）





ビーバースカウト

1986 年 9 月 30 日発隊

BEAVER SCOUT

ビーバースカウトは小学校就学前から2年生を対象に活動しています。活動テーマは「自然と親しむ」「元気に遊ぶ」です。隊集会を中心に普段学べないようなことを経験することができます。楽しく遊ぶことから学び、様々な体験から社会性を高めていくことが目的です。野外にハイキングに出かけて自然の中でいっぱい遊んだり、奉仕活動を通して地域社会に役立つことを体験したりと多岐に渡ります。



ビーバースカウトのやくそく

- ・ぼくはみんなとなかよくします
- ・ビーバー隊の決まりをまもります

ビーバースカウトのモットー

- ・なかよし

ビーバー隊のきまり

1. ビーバースカウトは、げんきにあそびます
2. ビーバースカウトは、ものをたいせつにします
3. ビーバースカウトは、よいことをします



竹で手作り水鉄砲



ユニセフ・ハンドインハンド街頭募金活動



渋谷ビーバースカウト合同集会



山手地区ビーバーラリー



カブスカウト

1967 年 12 月 20 日発隊

CUB SCOUT



カブスカウトは、小学校3年生から5年生を対象に活動しています。カブとはクマやオオカミなどの動物の子供を意味しています。活動目標は自分で考え、自分のことは自分ですること。学年ごとに用意された課目を自分の力で修得し、仲間で構成する組の単位で行動し互いに助け合いながら様々なプログラムに経験して行きます。自然や社会の中で仲間と共に活動することで、自立心や創造力が養えます。また興味のあることにチャレンジすることで知恵や技術を伸ばしながら個性を育みます。

カブスカウトのやくそく

- ・ぼくはまじめにしっかりやります
- ・カブ隊のさだめを守ります

カブスカウトのモットー

- ・いつも元気

カブ隊のさだめ

1. カブスカウトは、すなおであります
2. カブスカウトは、自分のことを自分でします
3. カブスカウトは、たがいに助けあいます
4. カブスカウトは、おさないものをいただきます
5. カブスカウトは、すすんでよいことをします



カントリー大作戦で渋谷駅モニュメント清掃

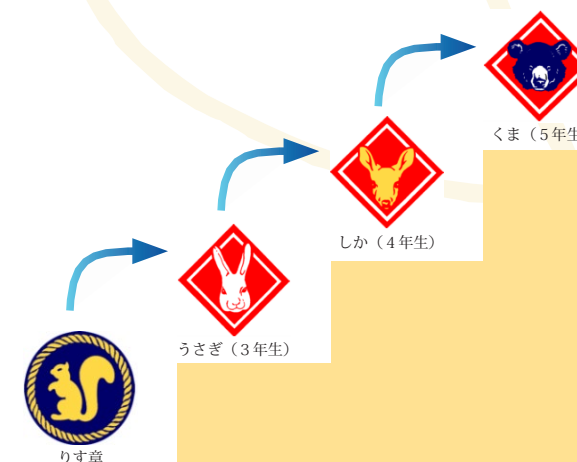


渋谷カブスカウト合同集会（みかん狩り）



毛布で簡易担架を作る訓練

ステップ章



チャレンジ章





ボーイスカウト

1969年2月1日発隊

SCOUT

ボーイスカウトは、小学校6年生から中学3年生を対象に活動しています。名前の通りボーイスカウト活動の中心となる活動で、班集会を中心にハイキングやキャンプなどの野外活動を通じて数多くの訓練を実施します。地域社会との関わりも多く、街頭募金活動や様々なイベント奉仕で活躍します。また自己管理による進級制度により、スカウト自身の探究心と精神力を鍛えます。さらに都道府県や国全体、世界をまたぐイベント等、幅広い活動から多くの仲間たちと交流を深めることができます。より良き社会人を目指してより大きく成長することを活動の目標としています。中学卒業後ベンチャー隊へ進級します。



ちかい

私は名誉にかけて次の三条の実行をちかいます

- 一、神と国に誠を尽くしおきてを守ります
- 一、いつも他の人々を助けます
- 一、体を強くし心をすこやかに徳を養います

おきて

- 1、スカウトは誠実である
- 2、スカウトは友情にあつい
- 3、スカウトは礼儀正しい
- 4、スカウトは親切である
- 5、スカウトは快活である
- 6、スカウトは質素である
- 7、スカウトは勇敢である
- 8、スカウトは感謝の心をもつ



アーチェリー訓練



移動キャンプで三浦半島一周にチャレンジ



第16回日本ジャンボリーの開会式

ターゲットバッジ (～2017年8月)



進級記章 (～2017年8月)



進級記章 (2017年9月～)



ベンチャースカウト

1976年4月1日発隊

VENTURE SCOUT



ベンチャースカウトは、高校1年生から3年生を対象に活動しています。スカウトがそれぞれプロジェクトを立案・実行・評価・改善しより高度なプログラムを実践していきます。準スカウト章、スカウト最高の榮譽である富士スカウト章の習得を目指し「自立した大人」となることが目的です。ここまで経験してきたことが個人の自信に繋がり、人間的に大きく飛躍したことを認識することができます。高校3年卒業後ローバー隊へ進級します。



第23回世界ジャンボリー海外スカウトとの交流



バイオニアリング講習会



北海道遠征プロジェクト

進級記章 (～2017年8月)



進級記章 (2017年9月～)



技能章 (～2017年8月)





ローバースカウト

1982 年 4 月 1 日発隊

ROVER SCOUT

ローバースカウトは、18 歳から 24 歳までを対象として活動しています。成人スカウトとしての活動となるため、その主体は指導者として各隊に奉仕となります。そのかわり、ローバースカウトたちが集まって、自分たちの興味に応じた創造的な活動を目指しています。



第 23 回世界ジャンボリー奉仕



東京連盟 100km ハイキングゴールの瞬間



スカウトクラブ

SCOUT CLUB

スカウトクラブは、ローバースカウトを卒業した成人たちが集まるいわば OB 会。年齢制限はありません。主な活動として、親睦会や家族交流を目的としたキャンプなどを行いつつ、各隊への支援なども行います。互いの年齢や立場を超えて、親睦や交流ができる場所を提供しています。



スカウトクラブファミリーキャンプ



雪中ファミリーキャンプ



スカウトクラブ新年会



スカウトクラブファミリーキャンプ

日本ボーイスカウト渋谷第 10 団について

正 式 名 称	日本ボーイスカウト (東京連盟) 渋谷第 10 団
発 団	昭和 42 年 (1967) 12 月 10 日
拠 点	〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-3 斎藤 一夫 方 TEL:03-3370-3522 FAX 03-3370-3542
WEB サイト	http://www.shibu10.com 
メールアドレス	infomation@shibu10.com
Facebook	https://www.facebook.com/shibu10/ 
団 委 員 長	武山 昭英
育 成 会 長	斎藤 一夫
団 の 構 成	団委員会 / 育成会 / ビーバー隊 / カブ隊 / ボーイ隊 / ベンチャー隊 / ローバー隊 / スカウトクラブ



このシンボルマークは、発団 15 周年に際し制定された。活動拠点が鳩森八幡神社であることから、鳩がモチーフになっている。それまでもネッカチーフなどには鳩をイメージとしたマークが使用されていたが、以後はこのマークで統一されている。

編集後記

ボーイスカウト隊第一期スカウトとして入隊して 50 年。スカウト活動は、楽しい思い出ばかりです。キャンプでの失敗や遠征のアクシデントの思い出話は、いつもお酒の肴です。このたび、50 周年記念誌を制作するにあたり、微力ながらお手伝いすることで、渋谷 10 団にいくばくかの恩返しをするチャンスを与えて頂きましたことは、大変光栄でした。松尾君のように上手いかなかったですが、何とかまとめることができました。これもひとえに、制作にあたり、快く資料を提供して下さいの皆様のお陰です。心より御礼申し上げます。また、忙しい仕事の合間に、IT 技術を駆使して編集に尽力してくれた平山君、北原君にも、心から感謝致します。

これからもボーイスカウト渋谷 10 団が地域に愛され、より一層発展していくことを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

スカウトクラブ会長
森 昌昭

日本ボーイスカウト (東京連盟) 渋谷第 10 団
発団 50 周年記念誌
“ONCE A SCOUT, ALWAYS A SCOUT!”

発行日：平成 29 年 12 月 3 日
発行者：武山 昭英
編集者：50 周年記念誌プロジェクト
(森 昌昭、平山 弁慶、北原 康司)



“ONCE A SCOUT, ALWAYS A SCOUT !”